

5 重点施策

本市が目指す環境像を達成するうえで、基本施策に加え、特に注力すべき取組を重点施策として位置づけ、積極的に推進します。

1 脱炭素設備の積極的な導入推進

省エネ設備や再エネ設備の導入拡大

- 周知啓発や普及促進を目的とした導入支援
- 本市の率先的な脱炭素設備の導入

「ZEB Ready」の認証を取得した本市の公共施設



玉野市新庁舎（イメージ図）



玉野市消防庁舎・防災センター

2 持続可能なごみ処理体制の強化

ごみ焼却施設の老朽化対策とごみ処理の効率化

- 2027（令和9）年度から2市1町（岡山市・久米南町・本市）での広域処理
- 可燃ごみを広域処理施設（岡山市）へ運搬するための中継施設の整備



広域処理施設（イメージ図）

6 各主体の役割



行政

環境行動を率先的に実行し、環境保全に関する仕組みづくりや情報発信などに取り組みます。



市民

環境に関する理解を深め、省エネ行動や4R、身近な自然の保全などに取り組みます。



事業者

環境関連の法令を遵守し、環境に配慮した事業活動や身近な環境の保全などに取り組みます。

玉野市環境基本計画（第3次）概要版（令和8年3月）

発行：玉野市 編集：市民生活部環境保全課 〒706-8510 岡山県玉野市宇野 1-27-1
TEL：0863-32-5520 FAX：0863-32-5513 URL：https://www.city.tamano.lg.jp

玉野市環境基本計画（第3次）

-概要版-

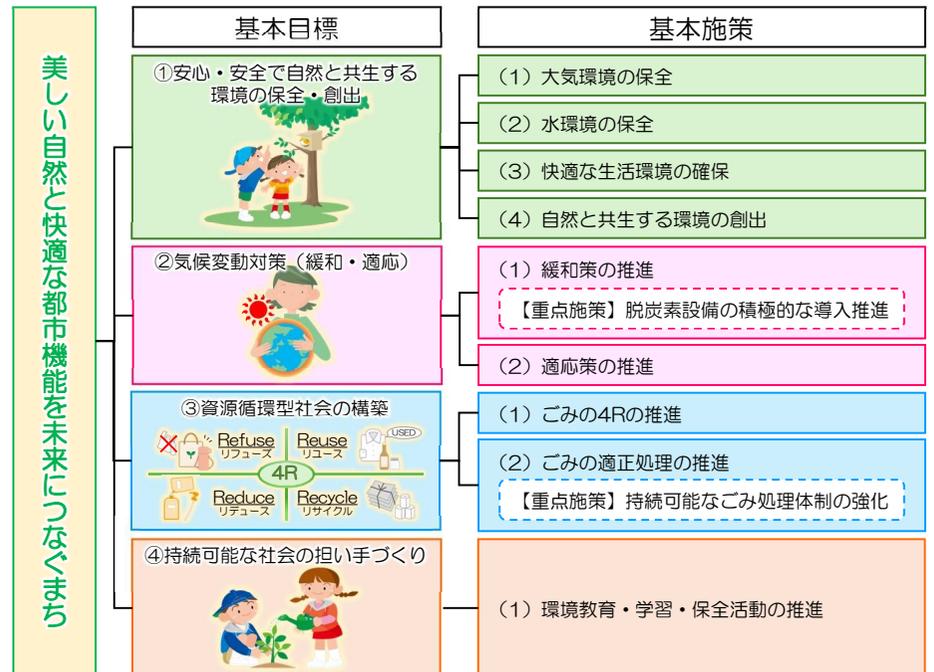
（令和8年2月 案）

1 目指す環境像

美しい自然と快適な都市機能を未来につなぐまち



2 計画の全体像



3 計画の概要

目的

- 良好な環境を次の世代に引き継ぐために、市民・事業者・行政が一体となって、環境の保全及び創造に関する取組を促進します。

計画期間

- 2026（令和8）年度～2033（令和15）年度

4 目指す環境像を達成するために取り組む内容

基本目標①

安心・安全で
自然と共生する
環境の保全・創出



かけがえのない環境を未来に引き継ぐため、大気・水質・音などの生活環境や、瀬戸内海国立公園をはじめとする豊かな自然を守り、人と街、そして自然が美しく響き合う持続可能な環境を創造します。

環境指標 (抜粋)	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和15年度)
大気における 環境基準達成項目割合	86.4% (19/22項目)	100% (22/22項目)
生活雑排水処理率	94.7%	97.6%以上

基本目標②

気候変動対策
(緩和・適応)



地球温暖化に伴う猛暑や異常気象への抜本的な対策として、温室効果ガスの排出を抑える「緩和」と、避けられない影響に備える「適応」の両輪を推進し、気候変動に応化した社会を目指します。

環境指標 (抜粋)	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和12年度)
市域から排出される 温室効果ガス量 (平成25年度：1,117千t-CO ₂)	800千t-CO ₂ 28.4%削減 (平成25年度比)	651千t-CO ₂ 41.8%削減 (平成25年度比)

基本目標③

資源循環型社会の
構築



これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とする社会から、廃棄物の発生回避（リフューズ）・発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）・再生利用（リサイクル）の4Rを推進し、循環型社会の構築を目指します。

環境指標 (抜粋)	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和15年度)
1人1日当たりごみ総排出量	958.5 g/人・日	850.0 g/人・日以下
資源化率	12.1%	17.2%以上

基本目標④

持続可能な
社会の
担い手づくり



暮らしの礎である環境を守るため、環境教育や普及啓発を通じて一人ひとりの意識を行動へと促すことで、持続可能な社会を支える「人づくり」を推進します。

環境指標 (抜粋)	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和15年度)
ごみ処理施設の見学教育件数	10件	15件以上
その他の環境教育件数	9件	10件以上

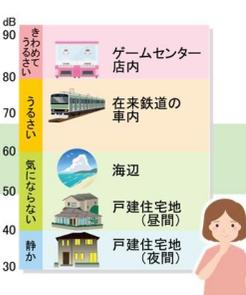
取組事例



大気汚染・公害・悪臭
防止対策の推進



生活排水の適正処理



騒音・振動公害の防止



自然環境の保全



省エネルギーの推進



再生可能エネルギーの
普及促進



防災力の向上



熱中症の予防



ごみの発生抑制



食品ロスの削減



ごみの適正な分別・排出



効率的・効果的な
ごみ処理



環境に関する
周知啓発



環境問題への
理解の醸成



環境保全活動への
参加・支援



施設見学の推進